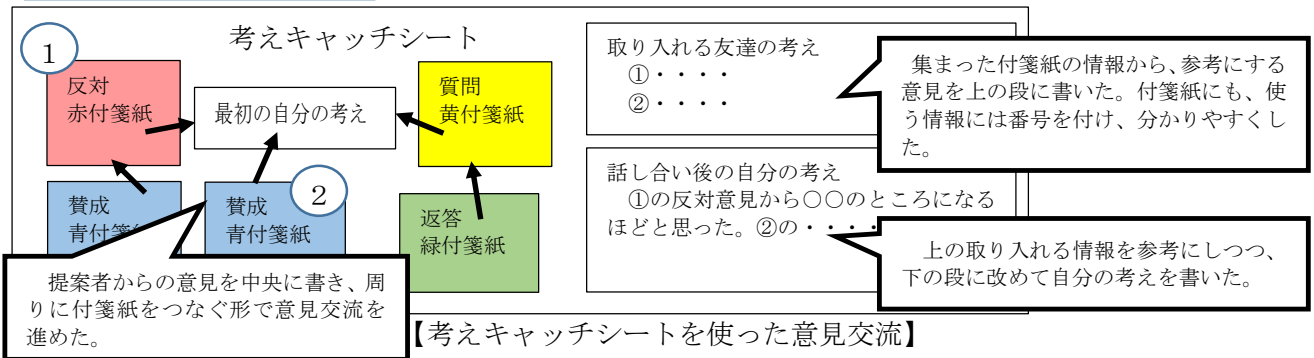
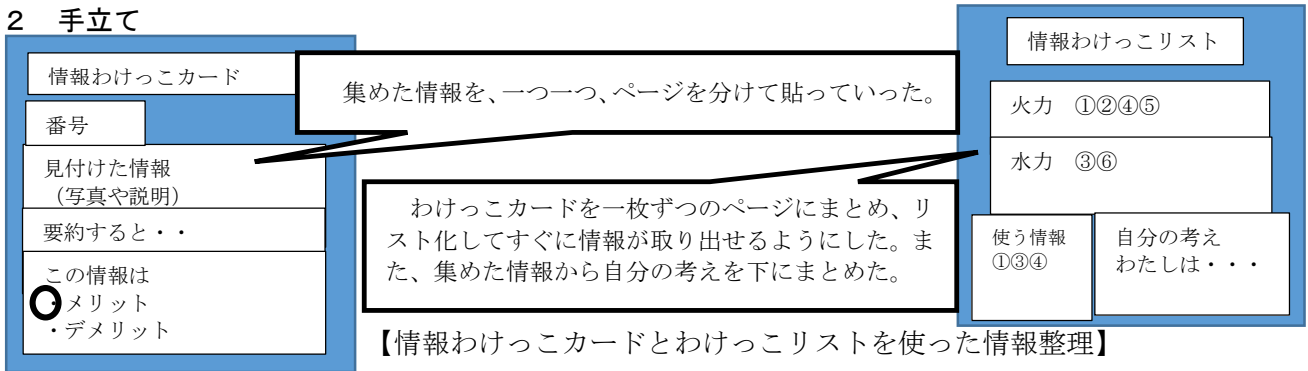


実践記録（小4・社会）

1 ねらい

友達との意見交流を通して、自分の考えを広げて意見をまとめることができる。

2 手立て



3 実践の様子

はじめに、様々な発電のメリット、デメリットについて調べた前時までの学習を振り返り、「自分の考えと比べながら友達の意見を聞き、自分の考えをさらに広げよう。」と目標を再度確認した。前時まで付箋紙の貼り方を練習したり、発電方法のメリットとデメリットの情報収集（情報わけっこカードに記載）を済ませたりしたことで、児童は高い意欲で話し合いに参加していた。

まず、1人の提案者に対して、グループで話し合いをした。

A児「ぼくは火力発電がいいと思います。なぜなら石油を燃やして電気が起こせるからです。」B児「火力発電は地球温暖化の原因の二酸化炭素が出るからよくない。」C児「二酸化炭素が出たらどうなりますか。」B児「温暖化が進むと平均気温が上がり動物がどんどん死んでしまいます。」

調べてきたことから意見を交流する姿勢がどのグループにも見えた。意見がたくさん出て活発だったグループは、取り入れる意見もたくさんあった。「私は、やっぱり地熱発電を日本が進めていくべきだと思います。でも、A君とBさんの意見を聞いて、原子力発電も最初から大きな事故がこわいから悪者みたいな扱いをしていたけど、少しだけ原子力発電を進めていくべきという思いがでてきました。」と話し合いの中から自分の考えが変わった児童も多くいた。しかし、話し合いが質問だけに偏ったグループでは、考えの広がりが見られない児童もいた。



班での活動の様子



実際のキャッチシート

4 成果と課題

- 「情報わけっこカード」によって、自分がよいと考える発電方法に対するメリットとデメリットの情報を集めることができ、意見交流に積極的に参加することができた。
- 「考えキャッチシート」を利用した話し合いは、口頭で話すことが苦手な児童にはよい方法であった。また、友達の意見を受け入れて、自分の考えを変えたり、広げたりすることができた児童が多くいた。
- 「情報わけっこカード」に集めた情報が増えるほど自分の考えに固執してしまい、説得力のある意見を受け入れられない児童も見られた。